県政レポート No106

県政に活力！ 諫早に輝きを！

長崎県議会議員
やまぐち　はつみ
山口はつみ

発行責任者：山口　初實　　編集責任者：松永　碩哉
発 行 年 月：令和２年 11 月

実りの秋を迎えて

朝夕爽やかな風情の中、実りの秋、収穫の季節を迎えました。**黄金色に染まっていた諫早平野は稲刈りを終え、秋の深まりと共に一息ついた感があります。**

一方、**私の地元多良見町伊木力地区においては、**240年の歴史と伝統を誇る伊木力みかんの収穫が始まり、普段は穏やかな、**みかん畑も鮮やかに黄金色に色づき活気がみなぎっています。**

又、**スポーツの秋でもあり、**プロ野球は日本シリーズを迎え、サッカーＪ２も、終盤戦となり、Ｊ１返り咲き狙うＶファーレン長崎の、これからの頑張りに大いに期待したいところです。

今年春先から猛威を奮った新型コロナウイルスは世界全体で確認された感染者数が4,452万人を超え、特にフランスは厳格な都市封鎖を全国的に行うと発表し、インドにおいても累計感染者が800万人（世界２位）を突破したと伝えられています。

我が国において最近では1日700人を超え、累計10万人を超える感染が確認され、長崎県においては10月末現在、合計245人の感染が発表されています。

Go To トラベルも始まり景気回復にも期待するところですが、これから気温も下がりインフルエンザの発生時期と重なる為、予断を許さない状況にあり、なお一層、密を避け、マスク着用、手洗い、うがいの励行が必須となります。

国政においては、最長を誇った安倍政権から菅政権へ移譲が行われたところです。

野党においても、国民民主党、立憲民主党が解党し各々新党が誕生し「日本学術会議」「脱炭素社会」「観光支援Go To トラベル」「消費税率引き下げ」など国会論戦に注目していきたいと思います。

県議会においては、9月定例議会、予算決算委員会・決算審査、そして人口減少・雇用対策特別委員会を終えたところです。具体的内容は次ページ以降をご覧ください。

皆様これから寒い季節を迎えますが健康第一で元気いっぱい頑張りましょう。さらなるご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

マスク着用で頑張る改革21議員団！

9月定例議会
予算決算委員会・決算審査
人口減少雇用対策特別委員会

令和2年9月定例会は、9月10日から10月5日まで開催。

一般質問では12名の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染拡大による誹謗中傷対策、子供たちの学びを応援する取り組み、新幹線の整備促進など活発な論議が交わされました。

補正予算については新型コロナウイルス感染症対策、災害関連、復旧に関する経費として、追加上程され、一般会計で約288億円の増額補正となりました。

この結果、本年度の一般会計の予算総額は約8405億円となり昨年同期と比べ約1284億円の増となりました。

本定例会では、14件の議案を、可決、承認、同意しました。

また、『令和元年度一般会計及び特別会計の認定』ついては閉会中審査として予算決算委員会において決算審査を行いました。

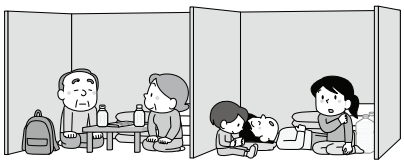
総務委員会報告

私が所属する総務委員会での主な議論についてご報告いたします。

1 災害時の避難情報や避難所体制について

【質問】台風10号の際に、各地域の避難所が想定以上に不足した状況になった。

今後の市町の対応について、コロナ禍も踏まえたうえでの避難所運営をどのように対応していくのか。



【危機管理監】台風10号では、各市町により多くの避難所設置をお願いした結果、台風９号の時よりも**約３倍の避難所を設置していた**が、感染症の対策により定数を減らしたことで、満員の避難所もあった。

今回の教訓をもとに、各市町との連携を密にして、**安全かつ安心した避難所運営を目指したい。**

2 次期総合計画について

【質問】次期総合計画には、SDGsの推進や、Society5.0の実現により、県の未来像はどのように描かれるのか、また県民の生活はどのように変化していくのか。

併せてMaaSという新たなモビリティサービスの導入により県内でどのような事業が展開できるのか。

【政策企画課長】本県におけるSociety5.0実現に向け、産学官連携による「ながさきSociety 5.0推進プラットフォーム」を立ち上げたところであり、光ファイバや5Gといった情報通信基盤の整備、ICT利活用による質の高い県民生活の実現、新産業・新サービス創出による産業振興、さらには行政のデジタル化などの取り組みを推進していくこととしている。

また、**MaaSに関しては**、IR整備や新幹線開業によって、新たな人の流れが期待できるため、本県を訪れる観光客がよりスムーズに観光周遊できるサービスとして導入を図っていきたい。

3 薬物対策について

【質問】島民が300人程の長崎市高島町で起きた、大麻草を栽培し逮捕された事案は、地域に大きな不安を与えている。今後薬物対策にはどう取り組んでいくのか。

【警察本部】昨年、県内における大麻の検挙人員のうち**約９割が10代から30代**という若年層であった。今後は、これまで以上に関係機関と連携し、徹底した取り締まりを行うとともに、パトロールの強化による情報収集活動をはじめ、薬物乱用防止教室や各種キャンペーンなど広報啓発活動にも積極的に取り組み、薬物事案の根絶に努めたい。

④ 歳入予算について

【質問】新型コロナウイルスの感染拡大により様々な影響が生じており、特に県の財政への影響が懸念されている。この間の県税収入は減収を避けられないと思われるが状況はどうか。併せて、減収となる場合、その補填に関して国から支援等はないのか。

【財政課長】直近の実績等により推計したところ、令和２年度の当初予算と比較して、法人二税や地方消費税など、**合計で71億円の減収**が見込まれている。

法人二税等の減収額については、国からの交付税措置がある減収補填債の発行により対処できるが、地方消費税の減収額約19億円については制度の対象外である。

⑤ 轟峡崖崩れについて

【質問】7月豪雨、9号、10号台風と多くの風水害が発生した。その中で、諫早市轟峡遊歩道のがけ崩れで、お母さんと娘さんが犠牲になられております。県立公園内であり、市が管理しているところではあるが県としてどう関わり、再発防止を図っていくのか。

【危機管理課長】7月豪雨ということで、1000ミリ近い雨量を観測されていましたが、当日は、丸一日雨が降っていない中でのがけ崩れであり、非常に予測も難しい状況であったと承知しているところであります。

今、諫早市では**再発防止検討委員会**が設置されています。県としてはその調査結果をもとに公園管理者と必要な関係機関とも情報を共有して再発防止に努めていきます。

また、改めて、大雨で地盤が緩くなると、雨が降ってなくても土砂崩れが起こるということ、それを十分周知、広報していきたいと考えています。

予算決算委員会（決算審査）報告

9月定例議会を終え、10月16日（金）～10月27日（火）まで閉会中審査として令和元年度の決算審査が各分科会において開催されました。

私は総務分科会において、一般会計約7,596億円の決算状況について審査を行いました。その中で長崎県の最大の課題である人口減少対策に関する質疑についてご報告いたします。

① 人口減少対策費について

【質問】昨年度の人口減少対策事業に約230億円の予算を措置しているが、令和元年の人口は、自然減と社会減合わせて、約1万5千人の減少となっており人口減少に歯止めがかかっていない。特に、若年層や女性の県外流出が課題であるが。

【統轄監】人口減少対策については、街づくりや雇用の場づくりなどの観点では着実に進んできていると思うが、若者が就職や居住地を選択する際の観点や、特に、女性の社会減については、関係部局と課題認識を共有しており新しい施策として組み立てる必要があると考えている。さらに人口減少を考える上での新たな視点として、若者・女性から選ばれる職場環境や仕事づくり、**リモートワークへの対応など**、地方への移住に関心を持つ若者に対する取り組みにも積極的に対応していく必要がある。

② ながさきUIターン促進事業費について

【質問】令和元年度の移住者の実績が、前年の1.3倍に伸びており、その要因をどのように分析しているのか。また、コロナ禍で地方の魅力が見直されるなか、より多くの方に、本県に移住してもらえるような情報を効果的に発信すべきと思うが。

【地域振興課長】市町の相談体制が強化されたことや、県の移住サポートセンターでの就職・転職支援、さらには、友人国境離島法を活用した雇用の場の創出により、島外や県外からの就職が活発になっていることが大きな要因であると認識している。

相談件数の増加に比例して、移住者数も増える傾向にあり、移住への関心が年々高まっている。

特に、Uターン者数が伸びていることを踏まえ、魅力的な求人情報の発信に努めるとともに、Iターン者に対しては、地方暮らしの魅力発信について、先輩移住者と連携して取り組んでいく。

「新型コロナウイルス感染症」急拡大に伴う緊急要請

全国で感染拡大し社会全体に影響を与えている新型コロナウイルス感染症に関し、感染症の急拡大を防ぐべく以下の８項目について、**改革21として政策提言を取りまとめ、知事に対し緊急要請を行いました。**

政策提言項目と主な知事見解の概要についてご報告致します。

1．感染者やその家族と関係者、濃厚接触者への誹謗中傷と風評被害について
・専門相談窓口の設置・弁護士等による相談体制の整備を行う。

2．GoToトラベルキャンペーンの受け入れ制限について
・感染防止対策に全力で取り組み、観光客を迎える。

3．会食時の感染防止策の徹底について
・状況に応じた会食時の人数制限を検討していく。

4．PCR検査体制の充実について
・検査体制の拡充、強化を進めていく。

5．医療提供体制の見える化と分かりやすい感染情報の発信について
・入院、入所者・回復者について、毎日更新した数を公表していく。

6．フエーズ毎の行動制限について
・現在指標づくりを進めている。その中で検討する。

7．緊急事態制限のタイミングについて
・地域の実情に応じた対応が求められている。

8．休業要請時の補償について
・事業者の混乱が生じないように制度設計を策定する。

人口減少・雇用対策特別委員会

令和２年10月２日開催

議題
●若者女性対策について
●雇用の確保対対策に関することについて

☆議論の内容については次号
県政レポート107号でご報告いたします。

可決した意見書（政府、国会へ提出します）
○地方自治体のデジタル化の着実な推進について
○私学助成の充実強化等について
○家庭教育支援法の制定について
○新型コロナウイルス感染にかかる医療機関への経営支援について
○ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化について
○大規模災害に対する備えの充実について
○軽油引取税の課税免除の継続について
○小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化について

可決した請願
○地方たばこ税を活用した分煙環境設備に関する請願書
○「家庭教育支援法の制定を求める意見書」提出に関する請願書
○小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に係る国への意見書提出を求める請願書

連絡先
山口はつみ事務所
〒859-0402 諫早市多良見町囲452-3
TEL・FAX
0957-43-2800
メールアドレス
hatumi@mrh.biglobe.ne.jp
ホームページ
http://yamaguchi-hatumi.com
https://www.facebook.com/hatsuml.yamaguchl
ホームページ
facebook